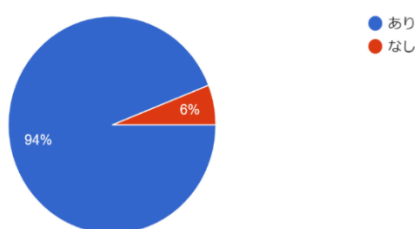


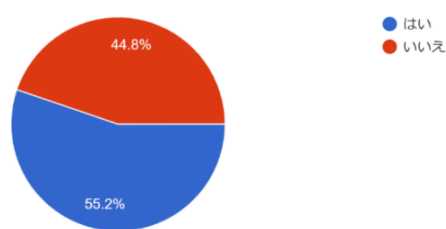
学年学級委員会アンケート結果

市内小中学校96校のPTA会長にご協力いただき、単位PTAの学年部の実態について、アンケートを実施しました。回収率69%（67校）の結果を示します。

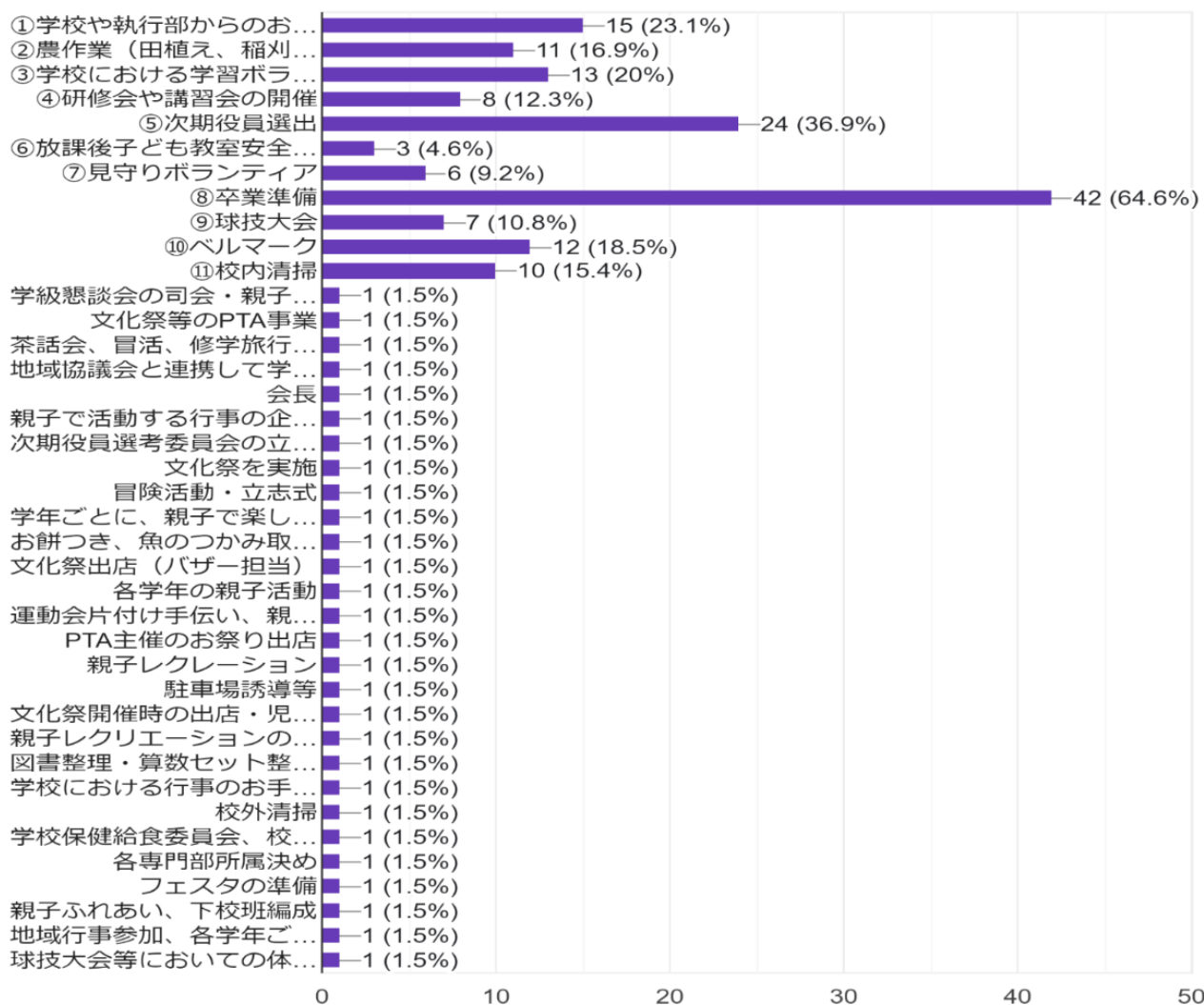
1 あなたの学校に「学年学級委員会」はありますか？（それに準ずる「部」も含む）



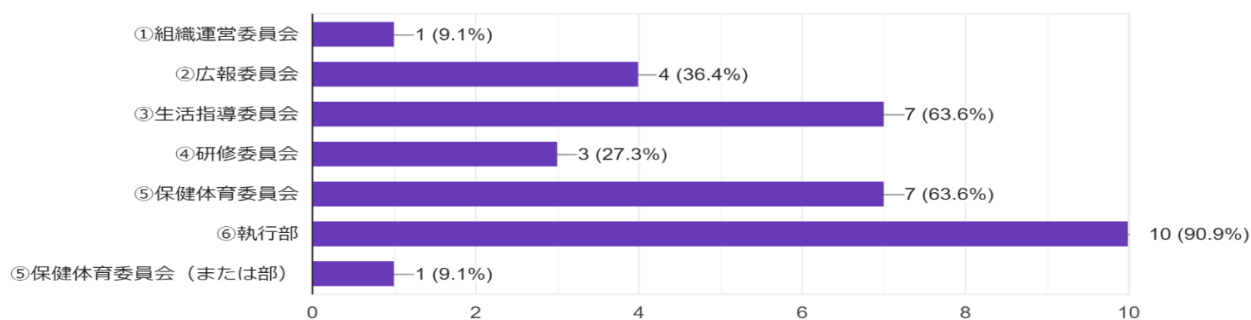
2 各クラスにクラス委員を配置していますか？



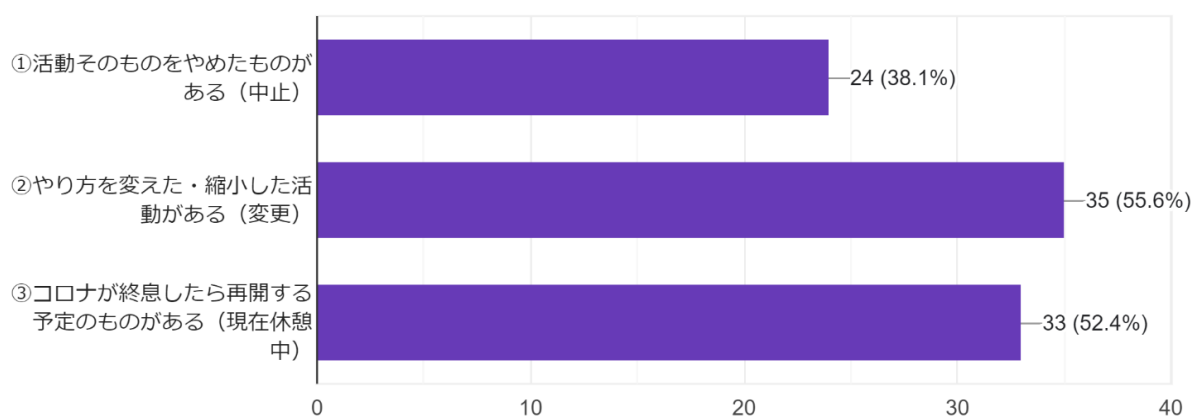
3 「学年学級委員会」がある場合は、どんな活動を行っていますか？



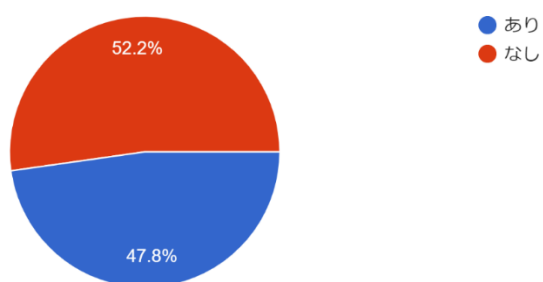
4 「学年学級委員会」がない場合は、「4」の活動を行うのはどのような委員会なのか？



5 「学年学級委員会」は、コロナ禍を通じて、どのような変化がありましたか？



6 「学年学級委員会」を運営して、難しく感じること、不便に感じること、困ったことはありますか？



7 「6」は、どのようなことですか？

○ 次年度の人選に関して

- ・次期役員の選出
- ・委員長の引き受け手がない。年度によって引き継ぎレベルに差がある。
- ・学年部は1番大変1番嫌だと話が広がっていて、毎年選出するのが非常に大変
- ・毎年の委員決めが決まらない。
- ・大規模校なので、振り分け、管理だけでも大変
- ・6年生時の役員は全学年のリーダーであり、役割が大きいので、選出に時間がかかる。学年委員をやって人にやってもらおうという意見がでる。

○活動に関して

- ・例年学年委員さん主催の親子レクイベント企画をお願いする事になっているが、企画する事に不安を感じている保護者が多い・その学年の委員会にならないと活動が不明
- ・以前は文化祭時に模擬店を出すなどの活動をやっていましたが、活動縮小で現在の主な活動が校内清掃のみとなり、別組織（総務部）の活動と被ってしまっているため、学年部としてどんな活動をしていけば良いか悩んでいます。
- ・ベルマークの分類、集計の方法や作業分担
- ・参加可否意識の温度差が大きい。
- ・集まる時間の調整、学校に対する価値観の違い
- ・活動が半強制なことが多い。
- ・委員会の自主的な活動がなかなかされないこと。また、平日では学校の要望したい活動に参加（協力）していただくことが難しいこと。

○コロナ禍に関して

- ・コロナを理由にベルマーク活動をしたくないと言う保護者がいた。
- ・学年ごと部があり、コロナ以降は対面で部会が開催できないことから、連絡先等の把握など1年生の部長さんが大変苦労されている。
- ・コロナ禍による活動中止に伴う活動経験者の不足
- ・保護者の人数の減少 コロナ禍で人との接触を抑えたいという要望
- ・理由はコロナ禍が関係するのかわからないが、先の予定が具体的に見通したっていないこと。また来年度の歓送迎会の予定を立てるのが難しいと感じる。
- ・2年間、活動(各学年で企画運営する親子ふれあい活動)が出来ていなかったため、教員も保護者も経験が少なくなってしまった。(学年委員長より)
- ・学年ごとのイベントが中止になり、6年生の卒業準備活動のみ行っている。その為、他学年の学年委員会の存続意義について悩んでいる。

○その他

- ・他常置委員会との所掌業務の調整
- ・学年委員のため、各クラスにいないための不便が発生している。
- ・生徒数の減少による会員数の減少
- ・PTA 会員の減少に伴いお手伝い人数も減少。
- ・学年の集まりが出来ていない
- ・大きなイベントの準備や実施後の参加者の反応に気を遣います。
- ・執行部役員への負担が多い。
- ・PTA 会費の使途
- ・卒業アルバムの代金回収方法について、現金回収で行っている。
- ・連絡を取り合うこと

8 「7」に対してどのような対策をしましたか？

○ 次年度の人選に関して

- ・今まで知り合いで探していた委員長決めでなく、他の方法を模索中。引き継ぎ資料の整備予定。執行部や地域協議会のコーディネーター（前学年委員長）がフォロー
- ・ふさわしい人が引き受けてくれるように、会長がその人を説得した。

○活動に関して

- ・レクの目的を学年ごとに設定し、ある程度のフォートを用意するか検討中
- ・児童の委員会内容の見直し、部員の作業見直し
- ・新入生の保護者さんなどに、学年部の良いところ等の説明をいたしました。
- ・運営委員会での報告を強く依頼
- ・理事会などにおいて意見調整
- ・委員会配置を検討予定
- ・行事の見直し
- ・前年度の記録が参考になると、参加者の反応は気にはなりますが、特にアンケートを取ったりはしませんでした。
- ・ボランティアであることを説明し、強制しないこととした。
- ・学年委員に限らず、広く保護者に協力を呼びかけた。
- ・ある程度やってほしい活動を本部から雛形として提示
- ・他校では研修部のような組織があることを聞き、参考にして研修会への参加を今年からお願いするようにしています。

○コロナ禍に関して

- ・今年度活動を再開するのにあたり、開催のお便りの雛型や会計書類、過去の活動資料や写真などをUSBにまとめ各学年委員長に配布した。（学年委員長より）
- ・LINE を活用
- ・活動の縮小 分散しての参加
- ・LINEなどを活用して、アイデア出し、意見の吸い上げを行いました。
- ・4年生～6年生まで、固定にしたり、グーグルフォームを使って、データ管理をしやすいようにした。

○その他

- ・会合を開く。
- ・例年対比でコミュニケーションをとる場を多くしている。
- ・全体の部員数の平均化。
- ・三役を中心とした部会内の協力、他の部会との調整など
- ・今年度、執行部役員の人数を増員した
- ・予算の振替
- ・写真館への直接振込み又はPTA口座への振込みによる代金回収へ、変更を予定している。
- ・しっかりとベルマークの意義・コロナ対策を確認し伝達した。

9 考察

多くの学校では、学年学級委員会（もしくは部）を設置はしているが、クラス委員を配置している学校は半数程度にとどまっている。

学年学級委員会の活動は多岐にわたるが、学校によって活動内容は異なっている。全体的な傾向は、PTA活動全般を担っており、学校行事におけるPTA活動の多くの部分を担っている。すなわち、執行部を助け、PTAの中核となって活動している。また、学年学級委員会がない学校では、執行部がその役割を果たしているが、活動の内容によっては、生活指導部、保体部などの他の委員会が行っている。

コロナの影響がどのくらいあるかについては、活動の中止、縮小・変更、休止といった変化が見られ、多大な影響を受けていることがわかる。その中で、それぞれの学校のPTAが活動を再検討し変化させたり、組織を整理し、効率化を図ったりするなどの努力を図っている。

アンケート「10 市P連へ求めるもの」については、様々なご意見をいただきました。現在ご意見を基に、市P連の組織や活動内容を検討しております。それらの内容についてご提案できる段階になりましたら、改めてご報告したいと考えております。

最後に、市P連としては、これからも各学校PTAの意見を集め、情報を発信し、活動内容等を紹介させていただきます。これにより、各学校PTAが活動を精選したり、新たな活動を始めるきっかけになるよう、各学校PTAを支援していきたいと思っています。